

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第2回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)協議事項（公開）

○令和2年度地域活動支援事業について
（提案事業プレゼンテーション16件）

(2)その他（公開）

3 開催日時

令和2年6月5日（金）午後6時00分から午後9時40分まで

4 開催場所

ユートピアくびき希望館 2階 第2会議室

5 傍聴人の数

6人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：井部辰男（会長）、上村閨一（副会長）、小川泉、笠原昇治、佐藤学、佐野喜治、新保哲男、滝本篤透、西巻肇、船木貴幸、宮澤房子、望月博、山本誠信、横山一雄（委員14人中14人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所佐藤所長、田村次長、小山市民生活・福祉グループ長、保坂教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ武内班長、市川主査、竹田主任、古川主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【田村次長】

- ・会議の開催を宣言

【田村次長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：佐藤委員、佐野委員に依頼

【井部会長】

- ・ No.1 「市道頸城線等景観整備事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・ 提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（くびき花の会）

No.1 「市道頸城線等景観整備事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・ 委員に質疑等を求める。

【西巻委員】

植栽事業は、なかなか大変な作業で頭が下がる。事前質問の回答と重なるが、現在の会員数が何名なのか。また、活動の延べ回数が30回ということだが、参加人数は延べ140人ということでもいいか。一回の活動に4～7名ぐらいの参加者があったということか。現在、花の会の会員は何人いるのか。

【提案団体】（くびき花の会）

4月現在、23名である。

【西巻委員】

それだと一回の参加者が5名弱ということになるが、植栽を行う沿線の草取りや手入れは大変だと思うが、今後そこら辺をどうするのか聞きたい。

【提案団体】（くびき花の会）

なかなか大変な作業なので、無理をしないで少しずつ回数を多くして、出られる人が出てやっている。それぞれ家庭の事情があったり、体力的なものもあったりするので、出られる時に個人的に行っている人もいる。会の活動としては集まった時ばかりではないので、地道な活動である。

【船木委員】

去年も確かチラシ等での活動で賛同者の募集という項目があって、見積書にはチラシ作成に2万円、交通費・ガソリン代に1万円とあったが、その作成したチラシを見ていないが、どこに配られているのか。

【提案団体】（くびき花の会）

会員が知人に渡して、声掛けで勧誘をしている。全戸配布みたいなことはしていない。

【笠原委員】

バックホーで掘って作業ということだが、バックホーを使わなければいけないほど深く掘っているのか。

確かに花を植えた時点ではきれいだが、人間の顔で言うと正面は口紅がきれいに塗ってあるが、後ろはぼさぼさで、農道や市道の側溝にも草が生い茂っている。全体的にきれいにしないのか、植えれば植えただけの場所しか管理しないのか。通った人からすると駄目だねという感じがする。そこら辺はどう考えているのか。

【提案団体】（くびき花の会）

努力はしている。草が生い茂っていると言うが、私たちが作業をやっている所ではなく、農地・水の関係の人たち、田んぼをやっている方たちや市道の地所であるので、私たちは作業できない。私たちが今作業をしているのは花壇だけである。

【笠原委員】

確かに市道ではあるが、草を刈ってはいけないという場所ではない。農道の人たちもきれいにすれば景観が良くなり喜ぶと思うので、草を刈ってはいけないとか、きれいにしてはいけないということではないので是非そこら辺は全体で考えて、パッと見た時にきれいになっていないと効果が出ない。こんなにお金を使っているのに、駄目だと思われぬように注意してもらいたい。

【提案団体】（くびき花の会）

努力する。

【井部会長】

- ・ 時間になったので審査を終了
- ・ No.2 「事務機器の整備による住民サービス向上事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・ 提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（特定非営利活動法人 くびき振興会）

No.2 「事務機器の整備による住民サービス向上事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・ 委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・ No.3 「雁金城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR 併せ会員の知識の向上事業」

について審査を開始

- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

No.3「雁金城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR併せ会員の知識の向上事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.4「くびき野レールパーク公開及び枕木交換工事公開事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（NPO法人 くびきのお宝のこす会）

No.4「くびき野レールパーク公開及び枕木交換工事公開事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.5「地域住民の健康増進対策事業（ノルデックウォーキング及び地域への出前講座）」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（NPO法人 ユートピアくびきスポーツクラブ）

No.5「地域住民の健康増進対策事業（ノルデックウォーキング及び地域への出前講座）」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【船木委員】

活動の目的に子どもの健全育成を図る活動とあるが、教室を見ると午前10時から12時で子どもは学校へ行っている。ということはこの目的にあたらぬのではないか。

【提案団体】（NPO法人 ユートピアくびきスポーツクラブ）

子どもたちに対しては、今は学校へも働きかけて活動外の時間に活動をしてもらおうと考えている。

【笠原委員】

講習会をやるということで、大池の方も頸城区観光協会がビジターセンターを中心にこれから活動をすると思うが、大池周辺はコースが非常に良いし、北越急行の方もきちんとした体制を整えば都会からもお客を誘致すると言ってくれている。くびき里やま学校も自然の学習も取り入れるということなので、そういう人たちとコラボしていくという形を取るのか。

【提案団体】(NPO 法人 ユートピアくびきスポーツクラブ)

今のところ、そういう形を徐々に取っていきたいと思っている。最初は無理なことも出てくると思うが、徐々に取組みながら大池の発展に寄与していきたい。

【笠原委員】

講師については、いつまでも外部から呼ぶのではなく、自分たちでも独自で育成しながら、案内できるようにしていただきたい。

【提案団体】(NPO 法人 ユートピアくびきスポーツクラブ)

とりあえず最初は講師を招いて基礎から学んで、明治地区の方でやっている方々もいると聞いているので、参考にさせていただきながらやっていきたい。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.6「冬期区民スポーツ大会開催事業（ソフトバレーボール、スマイルゲートボーリング、ファミリーゲートボール）」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】(頸城体育協会)

No.6「冬期区民スポーツ大会開催事業（ソフトバレーボール、スマイルゲートボーリング、ファミリーゲートボール）」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【船木委員】

消耗品の中にトナーカートリッジ34, 850円とあるが、くびき振興会で印刷す

れば安上がりになるし、今回は応募が多いので、できればこういうところも削っていただけるか検討願いたい。

【提案団体】（頸城体育協会）

その辺は検討させてもらう。どちらが安くなるのか、くびき振興会と相談して考えていきたい。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.7「幼年野球を通じた生涯スポーツ活性化と青少年の健全育成事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城スポーツ少年団保護者会）

No.7「幼年野球を通じた生涯スポーツ活性化と青少年の健全育成事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【滝本委員】

練習をされている場所は、学校体育施設だと思うが、この備品に関して教育を担当する教育・文化グループと備品の老朽化について話をされたことがあるか確認したい。

【提案団体】（頸城スポーツ少年団保護者会）

その辺については特に話をしていない。学校に備え付けの物をずっと使用しているのではなく、今までも私たちが整備をして使用している。

【滝本委員】

できたらそちらの方とも話をされることを勧めたい。

【提案団体】（頸城スポーツ少年団保護者会）

了解した。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.8「頸城区のスポーツ振興事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。

- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

No.8「頸城区のスポーツ振興事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【新保委員】

説明の中で非常に危険だとのことだが、危険な状態で中学校の生徒が体育館の中で運動しているということなのか。逆に言うと市へのアピールが足りないのではないかと考えるが、その点はいかがか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

アピールが足りないのかもしれない。毎年、市の予算要求ヒアリングがあり、その時に見てもらっている。実は去年までは体育館の天井の電気が半分以上切れていたが、見もらった結果、これは駄目だということで去年やっと水銀灯が入った。

テニスコートも見もらったが、砂利でボコボコ。去年地域活動支援事業で提案したが、残念ながら通らなかった。いろんな所で危険だと判断するところがあるが、子どもたちは怪我をしないように慎重にやっている状況だと我々は捉えている。

【佐野委員】

先ほどの説明にもあったが、提案書には教育委員会を通じて修繕予算の要求を行っているが、通りそうにない、学校教育として予算配当の見込みはないと書いてある。質問への回答で今年は市へは修繕要請を行っていないということが記載されている。提案者の中では筋が通っている話なのかもしれないが、分かりづらいところがある。地域活動支援事業の事業提案を充てにしないで、市に要請することでも準備されているのか。

それから眩しいというのは日中か、いつ眩しいのか、しょっちゅう眩しいのか。

もう一つ、中学校以外のことでも町内会や老人会に配慮する文章の記載になっているが、例えば老人会長あたりから、中学校の体育館はとても眩しいからなんとか後援会の方で改善してくれるようお願いしてほしいと言う話があったのか、確認したい。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

まず一つ目、毎年予算請求していたが、これからしても予算が付く見込みがないという意味合いで、今年度は現時点でもしていない。6月いっぱいすることはできるが、

こちらの地域活動支援事業提案を今しているので、予算要求申請は準備もしていない。

二つ目、眩しいのは西日が入る時間帯。午後から夕方にかけて特に眩しい。太陽が低くなってきた時間帯である。

最後に老人会からの依頼はない。

【滝本委員】

たくさんの方が利用される施設であることはよく分かるが、生涯スポーツの視点とかスポーツ振興の視点というのがないと私は感じる。これはスポーツ施設の整備事業ではないか、振興の策というのとは何かというのを聞きたい。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

中学校後援会として、例えば老人会の皆様や少年団の皆様に対してイベントをやるところまでは今回は企画していない。施設修繕ではないかということだが、我々としてはまず環境を整えてその中で思いっきりスポーツができる、まずそこを整えることが必要なのではないかと考えている。

併せて、部活動をとにかく一生懸命させてあげたいということで提案した。

【船木委員】

遮光フィルムをすることによって日中暗くなるのではないか。

そうなれば当然照明が点くし、電気代がかさむ。部活動や運動の為に眩しいからと言って、高い金額でフィルムを設置するというのはどうなのか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

遮光フィルムをして電気を付けると確かに電気代はかかるかも知れないが、何とかお願いしたいと思っている。日中教室で授業をする際も電気は点けている。

【井部会長】

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.9「頸城区観光事業活性化を図るための音響機器整備事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（井部会長 退席）

【上村副会長】

- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（特定非営利活動法人 頸城区観光協会）

No.9「頸城区観光事業活性化を図るための音響機器整備事業」について提出資料をもとに説明

【上村副会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了

【井部会長】

- ・No.10「外国人住民との新たな共生まちづくり事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城区上吉町内会）

No.10「外国人住民との新たな共生まちづくり事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.11「少年サッカー環境整備事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（くびき野 FC ジュニア（小学生の部））

- ・No.11「少年サッカー環境整備事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【新保委員】

スポーツ関係の、特に子どものユニフォームというのは子どもが大きくなるにつれてサイズがどんどん変わっていく。こういうものについては一般的には個人持ちというところが普通だと思うが、どう考えているのか。

例えば大きいサイズ、小さいサイズのバランスがとれていて、人にあったサイズがきちんと用意できればいいが、そうではなくて大きい物しか残ってなくて小さい子どもが着るような問題はないのか。

【提案団体】（くびき野 FC ジュニア（小学生の部））

サッカーチームは（パワーポイントを見ながら）ご覧のとおり、右上の8番の選手の袖がこんなになっているが、6年生チーム用の160センチのユニフォームを揃えて配っている。身長が大きい子はぴったりだが、小さい子が大きなユニフォームを着ていることは実際ある。ただし、サイズを揃えておかないとチームで持っている物な

ので、来年来る子が小さい子ばかりならまだ大きい物を着られるが、大きい子ばかり揃った場合にはユニフォームのサイズがないから試合に出られないということになりかねないので、大きなユニフォームを準備してみんなに配って管理している。

【船木委員】

今回申請された分、全部揃えると単価だといくらになるのか。見積りでいけば11万円になる。

【提案団体】（くびき野 FC ジュニア（小学生の部））

マーキング等で見積りの仕方はよくなかったが、フィールドプレイヤーで6,800円、ゴールキーパーで8,200円、マーキング6,200円プラス税金。それが68着分で481,360円になっている。

【船木委員】

それぐらいの金額だったら親御さんで都合をつけられないのか。

【提案団体】（くびき野 FC ジュニア（小学生の部））

それが1着の値段なので、青・白2着プラス、ゴールキーパーの子には更に2着買ってくださいとは言えない。ゴールキーパーをやってもらうならチームで持ちましようという形になるし、毎年買っていくはめになる。パンツとソックスセットで5千円ぐらいする。これが2色で1万円。各保護者に負担していただいている。上着ぐらいはずっと使えるものなのでチームで持っていようと。実際買って1年、2年。5・6年生で着た物を持って帰っても中学校では使えない。公式大会に使えない。試合に出るためにチームで管理していきたいと思っている。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.12「頸城区大池いこいの森ビジターセンター利活用事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（井部会長 退席）

【上村副会長】

- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（特定非営利活動法人 頸城区観光協会）

No.12「頸城区大池いこいの森ビジターセンター利活用事業」について提出資料をもとに説明

【上村副会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【笠原委員】

パンフレットに48万円もかけるというのは大観光地のパンフレットのような気がする。相見積りも取ったと思うが、企画で6万円とか、手作りでもいいからもう少し安くして効率的に市内にばらまく形とか、情報発信でインターネットでするのはいいが、やはり大観光地のパンフレットのようなのだ。一気にここまでしなくてもいいような気がするので、そこら辺の考え方を聞きたい。

【提案団体】（特定非営利活動法人 頸城区観光協会）

これまでは宿泊施設のパンフレットを作りたいと考えていて、県外からのスポーツイベントのスポーツ合宿など使用しているので、そういうところに配りたいと思っていた。今、新型コロナウイルス感染症の影響で、世の中がもう少し動けば宿泊のパンフレットに特化して作りたいと考えている。

【笠原委員】

印刷の方もくびき振興会に良いコピー機があるので、そんなにいっぱい作らなくてもコピーすればもっと格安にできるのではないかと。24万円もコピーの費用で出されているがこの辺はどうなのか。

【提案団体】（特定非営利活動法人 頸城区観光協会）

業者の制作した表面がきれいなつるつるした見開きの物を考えている。くびき振興会の方は少し白くなってしまうので、いかにも素人が作ったような感じだと私は感じる。

【上村副会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったなので、審査を終了

【井部会長】

- ・No.13「副読本「頸城鉄道物語 コップルじいさんのひとりごと」製作事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

No.13「副読本「頸城鉄道物語 コップルじいさんのひとりごと」製作事業」に

ついて提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【船木委員】

本にするわけだが、今新しい生活様式ということで小学校でもタブレットを配ることになっているし、見ず知らずの人が触った物が生徒に受け継がれていくことになる。金額も金額なのでデータ化して誰でも見られるようにした方が安価に仕上がるのではないか。そちらの方が有意義だと思うし、誰でも見れる。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

確かにそういった面はあるが、紙の媒体というのは自分自身で見て頭の中に入る。要は知識の定着として本は非常に有意義だと考えている。本を読むという行為自体が脳に対して刺激も与えるし、タブレットで調べるのとは違った意味での活動ができると思う。私たちは読み聞かせとして活動しているので、紙媒体を重視していきたい。

【船木委員】

教育が紙媒体からデジタルになった時に、せっかく作ったものが無駄にならないか。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

ならない。教科書もずっとなくならないし、作ったものが無駄になるということはないと考える。本がなくなること自体まずないのではないのか。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.1 4 「ヨモギ文庫復活プロジェクト事業～坂口謹一郎氏編～」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（ヨモギ文庫復活プロジェクト）

No.1 4 「ヨモギ文庫復活プロジェクト事業～坂口謹一郎氏編～」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【佐藤委員】

(郷土の偉人が) 40人いる中で一番に坂口先生を選んだ経緯を聞きたい。

【提案団体】(ヨモギ文庫復活プロジェクト)

私自身が頸城区に会社の拠点を置いているので、いつも坂口記念館の近くを通っている。坂口記念館に寄った時に坂口先生の功績というのが、例えば沖縄の泡盛の酵母菌を持っていて、太平洋戦争の時に救ったというエピソードや川上善兵衛先生やサントリーの創業者で鳥井さんのエピソードだとか、世界に誇るべき、また地域に誇るエピソードがあるにも関わらず、その功績や話を知っている人があまりいないと感じている。小学校低学年のうちから知ってもらえるよう周知していきたい。

プラス発酵食がキーワードですごく流行っている。そういったものをきっかけにまちづくりとか地域を盛り上げていきたいと考えて、まずは坂口先生を取り上げた。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求める。

【佐藤委員】

最後に企業の協力をいただきながらと記載があるが、企業のカンパをいただければ費用を賄えるような気がするが、事業提案した費用は賄えないのか。

【提案団体】(ヨモギ文庫復活プロジェクト)

企業から直接お金を頂戴することは現在していない。ヨモギ文庫の取組に対して協力をするよというようなスタンスを取っているので、例えばヨモギ製品や発酵食製品の利益の数%、私はよく4%くださいと言っているが、ヨモギの4%の利益を少しこちらに還元していただいて、企業と共にこの活動を一緒に伸ばしていけたらと思っている。直接大きなお金をいただくということは現在していないので、そうしてくれるとありがたいが、これからの成長を見ていただけたらと思う。

【新保委員】

もともとのヨモギ文庫の意図からすると、子どもたちが野草を取ってお金に代えていろいろな活動資金にしていたというのが発端だと思うが、企業だとか地域活動支援事業の補助金を増やしていくことによって当初の目的と方向性が違ってきてはいないか。

【提案団体】(ヨモギ文庫復活プロジェクト)

目的としたら、子どもたちから外に出てもらいヨモギの葉を集めて直接お金に換えるのが一番ストレートだと思うが、現在ヨモギのもぐさの仲買人である企業自体が名

立と妙高あたりの2社しかないと聞いている。活動そのものは元々の形を取り入れるが、現代風にアレンジして企業協賛みたいな形で協力していただけると嬉しいと思っているのと、ヨモギ自体も買取価格を聞くと1キロで5千円程度と聞いているので、なかなか活動費に充たらないため現代風にアレンジしている。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.15「団体等活動環境整備による地域の活力向上事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（花ケ崎町内会）

No.15「団体等活動環境整備による地域の活力向上事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【船木委員】

今回、収入支出を見ると99万全額であるが、花ケ崎町内会は180名近くもいる。町内会費でどうにかならないのか。大体どの地区も備品は町内会費から捻出されていると思う。

【提案団体】（花ケ崎町内会）

どこの町内会もそうだと思うが、緊急修繕や不測の事態に備えて一定額の金額は必要だと思っている。予算執行から本事業に対して多少の額は捻出できると思うが、購入額を充当することはできないので全額提案させてもらった。

【船木委員】

補助希望の金額も金額なので、申請が通ったらの話だが、例えば今回は椅子とかテーブルとか分けて申請することはできないのか。町内会で必要だと思うので、全部一括ではなく、単品ずつにするというのは可能なのか。

【提案団体】（花ケ崎町内会）

単品では考えていない。例えば椅子だけ買ってテーブルがない、テーブルだけ買って椅子がないというのはあれなので、揃えるのなら一緒に揃えたい。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.16「坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）

No.16「坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【佐藤委員】

2点ある。昨今の（新型コロナウイルスの）影響で中止にした、あるいは中止の予定の講座や教室があれば教えていただきたい。また、事前質問にもあるが、受益者の負担を増額するような観点に関してはどのように考えるのか。

【提案団体】（特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）

新型コロナウイルス感染症の関係で、2月からいろいろ企画していたが、ひな御膳から始まってほとんど中止になり私たちも非常に困っている。去年は関西から40人ぐらいの団体利用が8回ぐらいあった。これから状態がどうなるか分からないが、少しずつ活動を続けていきたい。

参加者の受益者負担について、多く出してもらえればいいが、参加者や講習会は相当の金額でないと集まらない。全体的で11万円ぐらい参加者からいただいているが、活動よりも地域活動支援事業をいただいて元気に皆さんに喜んでもらえるような講習会を続けていきたい。

【佐藤委員】

事業の実施期間で中止になったものを教えていただきたい。

【提案団体】（特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）

中止になっているのはひな御膳。お雛様を見てもらい、来夢ネットで抹茶セットの提供等を格安で計画していた。これから先も流しそうめんや七夕祭りも考えているがどうなるか分からない。

団体については今後、エージェントから要望があつてどの程度集客できるか。密集は駄目なので市の担当部署とやり方について相談しながらやっていきたい。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了

【田村次長】

- ・第3回地域協議会：6月17日（水）としたい
- ・会場については、通常使用している頸城コミュニティプラザで実施したい

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線 212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。